

1 学級担任の役割

○ 心構え

- ・ ゆとりある給食の時間の確保に努める。
- ・ 児童生徒と一緒に活動し、児童生徒と一緒に会食する。
- ・ 児童生徒の当番活動が円滑にかつ主体的に行われるよう配慮する。
- ・ 学級担任自ら正しい食事のマナーに心がけて児童生徒に接する。
- ・ 準備から後片付けまで、安全・衛生に配慮する。(食中毒・食物アレルギー・異物混入等)
- ・ 個に応じた指導を行い、児童生徒の健康管理に努める。
- ・ 楽しく明るい雰囲気づくりや食事に集中できる環境づくりに配慮する。
- ・ 自然の恵みや勤労に感謝する心を育てる。
- ・ 食べ残しを減らすことやごみを正しく分別するなど環境に配慮する。
- ・ 給食を生きた教材として活用するように努める。

○ 準備

- ・ 給食の時間開始と同時に当番活動が開始できるよう、各自の役割をしっかりと把握させる。
- ・ 配膳室に付き添ったり、ワゴンからの運搬を補助したりするなど安全管理に努める。
- ・ 盛り残しがなく、おいしそうに清潔に配膳できるよう、一人分の分量や盛り付け方を指導する。
- ・ 給食の時間のルールを理解させ、当番以外の児童生徒の指導も行う。
- ・ 食物アレルギーのある子どもに、給食の配慮が必要な場合は、間違いがないよう確認する。

○ 会食

- ・ クラス全員が楽しい雰囲気会で会食し、栄養バランスを考えた食事ができるよう配慮する。
- ・ 食事への感謝の気持ちがもてるよう、食事前後のあいさつを大切にし、言葉がけを考える。
- ・ 一人一人の食習慣や好き嫌い、アレルギーの有無、喫食状況を把握し個に応じた指導をする。
- ・ グループで楽しく会食ができるよう、グループ作りや会食中の話について配慮する。
- ・ 自由に話し合わせる自由話題による雑談、グループごと話題を決めて同一題で話す方法がある。

会話の内容	会話時の約束	留意点
<ul style="list-style-type: none">・ スポーツのこと・ 何をして遊ぶか・ 友だちとのこと・ 家でのできごと・ 夢中になること	<ul style="list-style-type: none">・ 自分たちのグループに聞こえる程度で話す。・ 口の中に食べ物が入っているときは、聞き手になる。・ 人の話をきちんと聞く。・ 時間内に食べ終わるように気をつけて話す。・ 人の悪口や食事を批判する話題はしない。	<ul style="list-style-type: none">・ 児童生徒の話題を取り上げ、教師がある程度リードして話し合う。・ 低学年においては、食べ終わってから話し合わせる。・ 給食の献立から話題を発展させる。

- ・ グループに入って食事をする中で、子どもの授業とは違う一面や交友関係を把握する。
- ・ 楽しさが失われないように指導方法を配慮する。
- ・ 早食いや大食い競争などはさせない。
- ・ 極端な少食、過食、偏食や食事の仕方が急に変わった場合、必要に応じて保護者と相談をする。
- ・ 会話をしながらの食事が難しく、時間内に食事が出来ない場合などは、最後の5分程度、食べることに集中する食べる時間（もぐもぐタイム）をつくり、よくかんで食べることや最後まで残さず食べることを意識して食事をする時間をつくる。

○ 後片付け

- ・ 食器にご飯粒が残っていないか、食べ残しがないかなどを確認する。
- ・ 食器を大切に扱うよう指導する。(音をたてないように)